

授業科目 環日本海地域論

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
若月 章	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【概要・一般目標：GI0】

冷戦システムの崩壊以降、環日本海地域（北東アジア・東北アジア）は数々の国際的な課題を抱えながらも、その発展の可能性と潜在性の面で、もっとも国際社会において期待されている地域のひとつである。そして日本海側の拠点としての新潟は東北アジアに開かれたゲートウェイとして新時代に向かって大きく開かれ日本海大交流時代をリードし続けている。本講義では環日本海地域の実情について三空間併存モデル（国際地域－国家－地域社会）を手がかりに、新潟の国際的な位置を確認するのみならず、日本海対岸各地域の社会・自然環境等を総合的に論じながら、当該地域の基本的視座を養っていく。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 地域からの国際学習の方法を理解する。
2. 環日本海地域の拠点としての新潟について考える。
3. 環日本海地域各国・地域社会の現況を理解する。
4. 環日本海地域の展望を考える。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	1. 講義ガイダンス		講義
2	2. 国際地域学習のすすめ（＜地域理解＞から＜グローバル理解＞へ）		講義
3	3. 国際社会と環日本海世界との比較		講義
4	4. 環日本海地域の基礎知識		講義
5	5. 日本及び新潟にとっての「環日本海圏構想」の現況とその意義		講義
6	6. 東アジア世界の特徴と環日本海地域		講義
7	7. 環日本海各国・各地域社会の概説 1) ロシアシベリア極東地域		講義
8	8. 環日本海各国・各地域社会の概説 2) 中国東北部地域		講義
9	9. 環日本海各国・各地域社会の概説 3) 朝鮮半島（大韓民国・朝鮮民主主義人民共和国）		講義
10	10. 環日本海各国・各地域社会の概説 4) モンゴル国		講義
11	11. 「日本海」の課題 1) 海洋環境の特殊性		講義
12	12. 「日本海」の課題 2) 日本海の名称問題		講義
13	13. 環日本海地域の展望と課題 1) 越境課題としての環境問題		講義
14	14. 環日本海地域の展望と課題 2) 国際地域協力の意義とその展望		講義
15	15. まとめ－環日本海地域の発展とその展望 講義内容は以下の項目を予定しており、視聴覚教材も活用する。		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	北東アジア事典－環日本海圏の政治・経済・社会・歴史・文化・環境	環日本海学会編	国際書院	2006・3,000円・なお、講義内容のレジュメも逐次、配布する予定。
	国境を越える実験－環日本海の構想	多賀秀敏編	有信堂	1992・2,100円
	日本海学の新世紀8総集編 日本海・過去から未来へ	日本海学推進機構編	角川書店	2008・1,365円
その他の資料				

【評価方法】

授業態度、出席（不定期に確認）
学期末に実施する筆記試験による。
(持込自由)

【履修上の留意点】

本科目は全学科共通の教養科目の中で配当されていますので、今後受講生が専門知識を得るための前提としての幅広い教養を身につけるための一助として設定されていると考えられます。新潟にとってもっとも身近な国々や地域社会の実情の学習です。従って、可能な限り講義に出席してくれることを先ず希望します。専門教科ではありませんので、気軽に受講してください。